

ビジネスバイクは時間帯、季節によらず安定した性能が求められ、そのニーズに答えられるようにバッテリー選定をしました。EV-neo は、「繰返し充放電」・「急速充電」・「低温でも充放電可能」とビジネスバイクのニーズに合う特長をもち、かつセルの供給体制や量産時期も合致した、東芝のリチウムイオンバッテリー SCiB を使用しました。

■ SCiB



ビジネスで使える航続距離

EV-neo のバッテリー搭載量は、このセルを 90 個使用し、907Wh(72V-12.6Ah(1HR))としました。これは、代表ユーザーの稼働パターンを把握した結果から導きだした搭載量です。一充電あたりの航続距離は、車速 30km/h 定地走行テスト値で 34km※を達成しました。

※定められた試験条件のもとでの値(走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。)

力強い発進を支える出力性能

EV-neo のバッテリーは、ビジネスバイクとしての高い出力要求に十分応えられるバッテリー放電性能を有しており、積載時でも力強い発進、登坂性能を実現しました。

外気温度が低い時も走れる

一般的に、バッテリー温度が低くなるとバッテリー性能は低下します。EV-neo は、低温性能に優れたセルを採用するとともに、バッテリー温度が低いときは、BMU がその情報を PDU に送り、PDU がモーター制御を出力制限モードに切り替えます※この制御により、走行を可能としています。

走行を開始するとバッテリーは放電により発熱するので、バッテリー温度が上昇します。バッテリー温度が設定値に達すると出力制限モードは解除され、通常の動力性能に復帰します。

※特許出願中

■出力制限状態表示灯



※写真は全点灯状態での撮影